



# 大樹のこころ

## 学習アプリ会社の取材

大樹寺小では、タブレット端末を活用しての授業を進めています。その結果、本校は「タブレット活用推進校」と位置づけられるようになってきました。タブレットを活用するようになり、子供たちは「遊び感覚」で学習に取り組むようになり、授業への参加も増えてきました。

授業において、タブレットはいろいろな場面で活躍します。理科で観察対象の写真を撮ったり、体育で自分の運動の動画を撮影したりします。調べ学習においては、ネット検索する上でも活躍します。その中でも活用頻度が高いのが「スクールタクト」という学習アプリです。このアプリは教師が作成したワークシートを子供のタブレットに一齐に配信したり、友達のワークシートを自分の端末から見ることでできたりと、学習の効率化をもたらしてくれるものです。本校の先生方は、タクトを活用した授業づくりに積極的に取り組んできたのですが、こうした活用状況がアプリの作成会社に伝わり、取材を受けることになりました。11月29日(火)に取材班が本校にやって来ました。

実際の授業の様子を参観したいとのことで、2年3組の算数の学習を撮影することになりました。担任の安藤先生は日常的にタブレット端末を活用した授業を行っています。この日の授業は算数の図形の学習でした。課題は「写真の中から三角形や四角形を見つけよう」です。教師がスクールタクトを活用して様々な写真を配信します。その中から子供たちは四角や三角を見つけ出し、タブレット上に赤い線で図形を描き込んでいくという活動です。取材カメラが教室に入ってきても子供たちはいつも通り。伸びやかな雰囲気です。標識や古民家・自転車といった写真の中から図形を見つけ出し直線を描き入れていきます。子供の見つけは「すごい」もので、車の写真からは窓の四角形だけでなく、ホールの三角形まで見つけ出します。実に子供の発想は愉快で素晴らしい。自分の見つけた図形を発表する時には、教師用のタブレット上で実際に図形を描き込みながら説明します。その様子が大型ディスプレイに映されるので、全ての子が考えを共有することができます。視覚的な共有が一瞬でできることもタブレットの強みです。

授業後には、担任の安藤先生がインタビューを受け、授業者の立場からスクールタクトの良さや改善点などを答えていました。このような意見を取り入れながらアプリ会社は、さらなる改良をしていくとのことです。この日に取材された授業風景や担任へのインタビューは、スクールタクトのホームページ上で公開され、全国配信されるとのこと。予定では1月頃からの配信だそうです。どのように本校の学習が紹介されるのか、とても楽しみです。

